

授業科目 住環境バリアフリー論

【担当教員名】 五十嵐 由利子	対象学年	3	対象学科	作業	健康
	開講時期	後期	必修・選択	必修	選択
	単位数	1	時間数	30	

<概要>  
日常生活の基盤である住環境は、様々な障害を持つ人たちは勿論、家族や介助する人たちにとっても重要である。住環境についてどのような整備や配慮が必要かを、住環境のバリアフリー論を中心に講義する。

<学習目標>

- ・日本の伝統的な住宅の特徴がわかる。
- ・住環境のどこにバリアがあるかが分かる。
- ・様々な障害の状況から、住環境における整備すべき事項を理解する。
- ・日常の住生活における配慮すべき事項が分かる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	日本の伝統的住宅の特徴		講義
2	住環境のバリアの実態 - 平面計画から		講義
3	住環境のバリアの実態 - 平面計画から		講義
4	住環境のバリアの実態 - 温熱環境から		講義
5	住環境のバリアの実態 - 温熱環境から		講義
6	住環境のバリアの実態 - 地域環境から		講義
7	長寿社会対応住宅設計指針について		講義
8	長寿社会対応住宅設計指針の適応		講義
9	住宅性能表示制度にみる高齢化対応		講義
10	住環境のバリアフリー - 平面計画から		講義
11	住環境のバリアフリー - 室内装備から		講義
12	住環境のバリアフリー - 温熱環境から		講義
13	住環境のバリアフリー - 地域環境から		講義
14	住環境の整備と福祉のまちづくり		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	日本建築学会編：高齢者のための建築環境、彰国社、1994、2825円 梁瀬度子他：住環境科学、朝倉書店、1995、3600円			
その他の資料	プリント			

【評価方法】 毎回の授業の終了前に、5分程度で書けるミニテスト（ノート等参照可）を実施し、最終試験等と合わせ、総合的に評価。	【履修上の留意点】
---	-----------